

今回紹介する団体：福岡市

## 取組概要

### 内容：

地域計画の策定にあたり、農家に郵送する意向調査のアンケート用紙の作成と、アンケート結果の集約・可視化をGISを利用して行った。

### 経緯：

#### ① アンケートについて

地域計画にかかる意向調査を行う農家・農地の数が膨大（農家：約2,800人、農地：約11,000筆）であるため、アンケート用紙の作成と結果の集約を、GISを利用して実施することとした。

アンケート用紙は農家用と農地用の2種類を作成し、農家用では主に今後の経営意向を、農地用では主に耕作状況と将来の予定について問うものとした。アンケートの形式はマークシートとし、回答を機械的に集約することとした。また、農地についてのアンケート用紙には、所在地だけでは場所が分からないため、該当農地の位置図と、Googleマップで位置を把握するためのQRコードも記載することとした。

#### ② アンケート用紙の作成

GISを利用し、アンケート用紙を作成する農地を選択してPDFファイルを作成する。記載する諸元は、農地図形が所持している属性情報を利用し、図形の位置から位置図とQRコードの画像を自動的に作成したものを記載した。

#### ③ アンケート結果の集約と可視化

回収したアンケート結果をスキャニングし、マークシートを機械的に判別して農地図形の属性情報として登録するGISの機能を利用した。集約した結果を区分ごとに着色することで、アンケート結果を可視化することができた。

アンケートの読み取り結果(左：農家用 右：農地用)

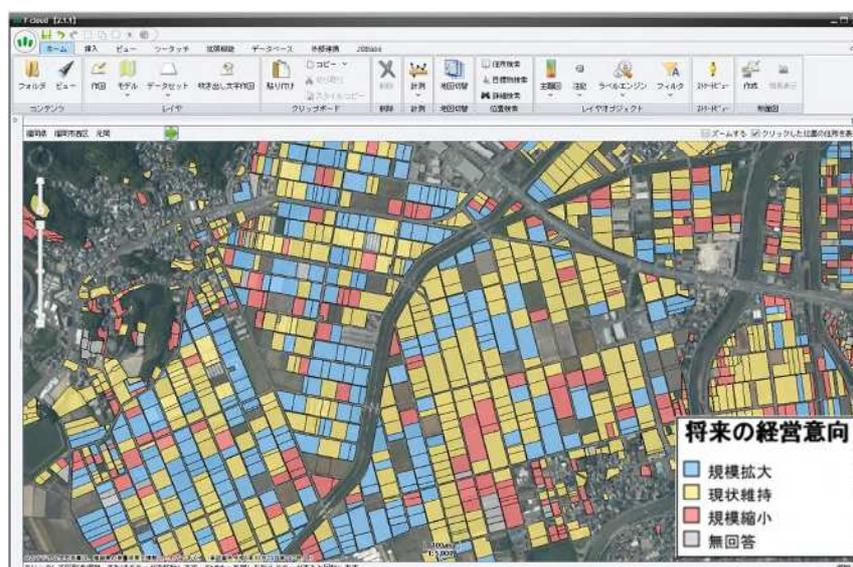
## 取組による効果

### ① アンケート用紙の作成

GISを利用することで、指定した農地のアンケート用紙を自動的に作成することができた。また、記載したQRコードをスマートフォンで読み取れば該当農地の位置がGoogleマップ上に表示されるため、周辺状況も含めて容易に確認できる。

### ② アンケート結果の可視化

回収したアンケートを、機械的に読み取ることで回答の集約を迅速に行うことができた。GISの属性値の着色機能を使用すれば、農家の経営意向や将来のビジョンを可視化できるため、地元との協議や地域計画の策定に向けた意思決定のツールとして役立つ。



将来の経営意向で着色したGIS画面

## 今後の活用予定

今後とも、農業の持続的な発展に必要な担い手の育成・確保と農地の集積・集約化に向け、各市町村における地域計画の策定等について、当連合会としても水土里情報システムを活用して支援していきたい。

## GISシステムのバージョン情報

GIS: GeoCloud (GC Maps Desktop 6.2.3)

### ■ お問い合わせ先

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部 情報管理課

092-642-1893(直通)